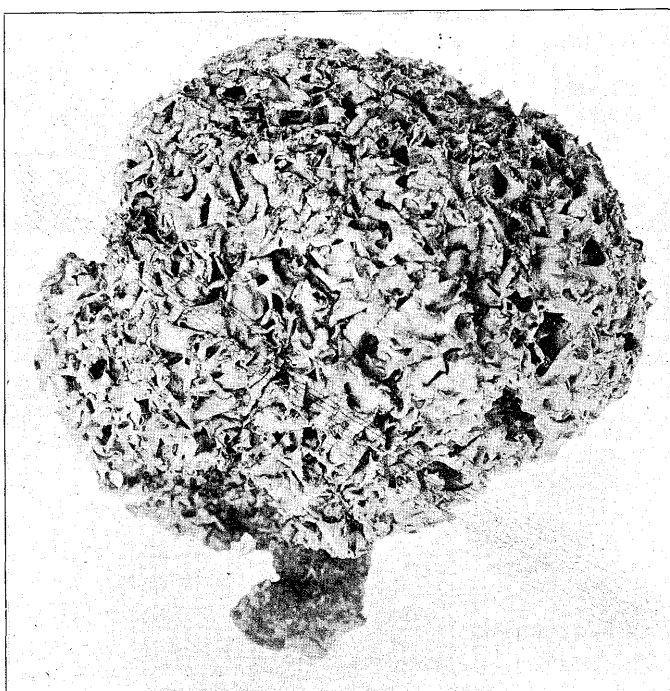


再ビはなびらたけニ就テ述ベル



はなびらたけ (*Sparassis crispa* Fr.)

生標本ヲ乾燥シテ約 $\frac{1}{2}$ ニ縮小セルモノ

下野那須郡高林村ニテ昭和五年八月十五日正井司郎氏採集

○再ビはなびらたけニ就テ述ベル

(昭和五年九月二十日記ス)

理學博士

川村清一

前ニ述べタ通り私ハ曾テ完全ナルはなびらたけノ標本ヲ採集シテ日本ニモ *Sparassis crispa* ニ間違ノナイモノガ産スルコトヲ知ツタガ朝比奈博士ガ本誌ニ誌サレタ秋田縣産ノモノニ就テハ其標本ガ乾燥品デアルダケニ外形上確實ニ之ヲ *Sparassis crispa* ナルカ或ハ *S. lamellosa* ナルカヲ判定スルニ苦ム所ガアリ只外國菌類學者ノ示ス右兩種ノ胞子ノ形ト大サニ相違ノアル事ニ基キ秋田縣産ノモノモ *S. crispa* トスルノガ穩當デアルトシテ置イタガ何ウカシテ次回ニ新標本ヲ手ニ入レタ時ニハ之ヲ乾燥セシメテ乾燥後ノ形狀ヲ觀タイト希望シテ居ツタ然ル所幸ニモ昭和五年八月十五日正井司郎氏ガ栃木縣那須郡高林村ニ採集サレタ *S. crispa* ノ標本ヲ得タカラ早速之ヲ日ニ干シ

再ビはなびらたけニ就テ述ベル

乾燥標本トシテ見タ、玆ニ寫眞ニ示スモノガ即チ夫レデアル

擬乾燥品ニ就テ觀ルト、秋田縣デ探シタモノノ其新鮮ナ乾燥前ノ形態ハ此度栃木縣デ探シタモノ即チ *S. crispa* ニ比シ花瓣狀ノ各片ノ邊緣ガ *S. crispa* ノ夫レノ様ニハ揃ッテ居ナイデ多少裂ケタ處モアッテ *S. laminosa* ノ形ニ類スル所ノモノデアッタラウト想像サレルノデアル、即チ此標本ヲ朝比奈博士ノ *S. laminosa* デハナカラウカトサレタ見方ハ外觀ヨリスルトキハ正シイモノト言ハナケレバナラヌ

只 *S. crispa* ノ胞子ハ subglobose or elliptical, 9-7 μ in diameter, or 6 \times 4 μ ト云フコトデアルノニ、秋田產ノモノノ胞子ノ形ト大キサトガ一致シテ居テ *S. laminosa* ノ胞子ガ globose, 8 μ トイフノトハ異ッテキル點デ前ニ述ベタ通り其標本ハ *S. crispa* ナルンシトスルヨリ外ハナイノデアルガ *S. crispa* ノ乾燥標本ヲ作ッテ之ヲ比較スルニ及ンデ爰ニ外形ニ於テ多少ノ相違ヲ認ムル事ハ私モ朝比奈博士ト同感デアル、即チ秋田縣產ノ標本ハ其外形ニ於テハ *S. laminosa* ニ類スルモ胞子ノ形ト大サトニ於テハ *S. crispa* ニ一致スルトイフコトニナルノデアル

爰ニ於テ私ハ前ニモ述ベタ所ノ Butler's Researches on Fungi, Vol. II. p. 188. ニ寫眞デ示シテアル英國產ノ *Sparassis* ノ一品ガ片側ハ *S. crispa* ノ形態、他ノ片側ハ *S. laminosa* ノ形態ヲ現ハシテ居ル標本ニ就テ再ビ考察セザルヲ得ナイ事ニナッタ、而シテ此兩種ニ就キ次ノ疑問ヲ生ズルニ至ッタ

第一、*S. crispa* ガ屢々 *S. laminosa* ニ似タル外形ヲ現ハスコトガアルノデハナイカ、併シ此場合ニデモ胞子ヲ顯微鏡デ檢スレバ夫レハ矢張り *S. crispa* タルニ外ナラザルヲ知り得ルノデ本當ノ *S. laminosa* ハ常ニ胞子ノ大サト形トニ於テ是レト區別シ得ル別種タルコトニ變リハナイコト

第二、*S. crispa* ト *S. laminosa* トハ外觀上ノ差異以外顯微鏡的ニ其胞子ノ形ト大サトガ互ニ相違シテキル事ニナッテキルガ夫レガ素々誤ッテキルノデハナイカ、即チ胞子ノ形モ大サモ兩々等シイモノデアッテ菌體

ノ外形ノ上ニ多少ノ相違ガアル場合ニ二種ニ區別サレテ居タノデ結局同一種デアルノデハナイカ
 以上二ツノ疑問ノ解決ハ今後多數ノ標本ヲ檢シタ後ニ俟ツベキモノデ、今日迄ノ所デハ *D. crispata* ガ明カニ日
 本ニ産シ、歐洲ノモノト同様針葉樹林ニ生ジ、私ガ曾テ紀州高野山デ採ツタ標本ノ中ニハ今デモ樅ノ落葉ガ多
 數入ッテキルカラ夫レハ樅樹ノ許ニ生エテ居タ事ガワカル、又 *D. laninosa* ノ方ハ歐洲デハ雜樹林中ニ生ジ主
 トシテオーク樹下ニ生ズルトイフコトデアルカラ、菌ノ外形ヤ胞子ノ形態以外ニ此事モ參考ニシテ邦産ノ本屬
 ノ菌ノ種類ヲ將來豊富ナル標本ニ依リ調べ前記ノ疑問ヲ解決シタイモノデアル

○稀菌かごたけ東京ノ郊外ニ産ス

(昭和五年二月稿)

理學博士 川 村 清 一

曾テ本誌第五卷第八號(昭和三年八月發行)ニ「かごたけトあかかごたけ」ト題シ腹菌族中ノ此ノ兩奇菌ガ我
 ガ日本ニモ産シ、前者ハ大正七年五月福島縣西白河郡古關村ニ於テ唯一回採レタコトガアリ、後者ハ昭和二年
 七月九日武州高尾山ニ於テ、又同年九月二十六日和歌山縣西牟婁郡川添村ニ於テ採レタノデ共ニ其ノ邦産アル
 コトヲ知ルニ至ツタ旨ヲ記シテ置イタ

あかかごたけ *Clathrus cancellatus* TOWNER. ハ歐洲南部ニハ普通ニ産シ、北米合衆國デモフロリダ等ノ地ニ稀
 ニ産スルガ形態ガ奇異ナノト色ガ紅色デ人目ニ着キ易イカラ歐米ノ博物館ニハ其ノ標本ヲ備ヘ又菌類學書中本
 菌ヲ圖示シテキルモノガ多クアッテ *Clathrus* 屬ヲ代表セル種ノ様ニナツテキル

然ルニかごたけ *Clathrus gracilis* (BERK.) SCHLECHT. ト之レニ似テキル別種 *Clathrus ciliaris* (TUL.) FISCHER.
 トハ、未ダ歐米ニハ發見サレタコトガ無イ、此前者ハ濠洲ニ産シ、後者ハニュージーランドニ多ク、昔時ハ土
 人ガ之ヲ採テ食用ニ供シテ居タモノダト謂ハレテキル程デ「本誌第五卷第八號」かごたけトあかかごたけ」ト題